



Youkobo PLUS

「インドの山奥から帰ってきました。」

2013 年 7 月 3 日(水)-7 月 14 日(日)



関係者各位

平素お世話になっております。

この度、遊工房アーツスペースでは、これまで行ってきたアーティスト個人(またはグループ)の実験的な活動の支援に加え、アーティストと積極的に協働して作り上げる展覧会および記録を推進するプロジェクト「Youkobo PLUS」を企画いたしました。芸術で社会のあり方を追求するアーティストの自由で斬新な発想と力強い活動を支援・発信することを目標に、市場の論理に捕らわれないアート活動のあり方を見つめてゆきます。本企画第一弾として、インド東部の少数民族(サンタル族)の村で暮らし、給水塔や図書館など村が必要とする設備をアート作品として制作し続けるアート集団 Prominority (代表アーティスト岩田草平)と協働して、展覧会とプレゼンテーションを開催します。

美術や音楽、表現行為のすべてが生活の一部になっており、誰もその事に疑問など持たないサンタル族と生活していると、なぜアーティストは作品をつくるのか？というありきたりな疑問にさいなまれると岩田は言う。そうしたジレンマを抱えながら作品をつくることで、部族の社会とアートをつなぐ、一つの方法論を提示することができるかもしれない。こうして始まったプロジェクトの成果であるマーケット制作展示(岩田草平)、prominority の活動映像(大木裕之)をどうぞご覧ください。



[展覧会情報]

展覧会名：Youkobo PLUS 「インドの山奥から帰ってきました。」

会期：2013 年 7 月 3 日（水）- 7 月 14 日（日）

開廊時間：12 時-19 時（最終日 17 時迄）

休廊日：月・火曜日

会場：遊工房アールスペース

問い合わせ：〒167-0041 杉並区善福寺 3-2-10

TEL) 03-5930-5009, FAX) 03-3399-7549, EMAIL) info@youkobo.co.jp

担当：村田弘子・梶田有理

企画：Youkobo PLUS

主催：Youkobo Art Space

共催：Prominority

特別協賛：アサヒビル株式会社

助成：公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

[交通のご案内]

公共交通機関：

・JR中央総武線「西荻窪」北口バス 2 番「上石神井」「大泉学園」行き「善福寺」下車すぐ

・JR中央総武線・地下鉄丸ノ内線「荻窪」北口バス 0 番「武蔵関駅」「北裏」行き「善福寺」徒歩 1 分

自動車：青梅街道「善福寺三丁目」交差点南、桃井第四小学校北隣

[展覧会内容]

「土のつわもの」のプロマイノリティレジデンスの報告と瀬戸内国際芸術祭、六本木クロッシング（森美術館）の作品プランを展示します。

[作家紹介 Vol. 1]

Prominority

2013.1.15~2013.4.06 「土のつわもの ～プロマイノリティ レジデンス～」

Masters of Soil ~Prominority Residence~

サンタルの農村、シアラ村にあるアディバシの家を拠点に、岩田草平、大木裕之（3 ページ目に作家略歴掲載）をはじめ 7 名の日本人アーティスト達が村人と生活を共にしながら作品の制作をおこなった。

岩田草平：土の Prominority のキオスクの制作。

大木裕之：現地のコミュニティをテーマにした映像作品を制作。

植松かおり：自然顔料を使用して、村の中に壁画の制作。

中瀬康志：直径 1 メートル程の土の球体を 10 個ほど制作し、村の中にインスタレーションを行う。

三梨伸：現地の使われなくなった家をリノベーションし、そこで酒場を経営する。

縦山智子：サンタル族の音楽を研究し、独自の楽譜の制作、演奏。

mahoutsukai Inc. : Prominority とのコラボレーションとして、サンタルの村を疑似体験できる RPG の制作。

2011.11 「8 人の日本人アーティスト-東洋の交感-」

2010.11 「How to start your art project in public space」

2008-2012 'Apam Napat'

2007.08 「SICE2007-"The Art Bar."、サラエボ近代美術館

2006 「SICE2006-Transition Compound-」(東京・ベルリン・サラエボ巡回展)

2005.08 「SICE2005-"Re-Cultivation."-」

2004.08 「SICE2004-"The Sarajevo Living Room" -」

出版物

2012 年 「サンタルの農村で給水塔を建てる」 BIOCITY

2011 年 「原始に魅せられて」日本住宅協会機関紙『住宅』所載

2005 年 「住むことから始まる」『アートという戦場』（フィルムアート社）所載。

[作家紹介 Vol. 2]



岩田草平 Sohei Iwata

1979 滋賀県生まれ
2008 東京藝術大学大学院先端藝術専攻修了
2010-2011 タゴール国際大学 客員研究員
2011~ Promiority 代表

主なグループ展

2012 Trans Arts Tokyo、旧東京電機大学
2011 「ソーシャルダイブ」 3331 Art Chiyoda (東京)
2010 「Fieldwork in Delhi "In Context: public, art, ecology"」 Khoj International Artists' Association(ニューデリー／インド)

主な受賞 2011-2012 ポーラ美術振興財団
2010-2011 吉野石膏美術振興財団
2008-2010 文化庁若手芸術家海外派遣員 (2 年)



大木 裕之 Hiroyuki Oki

1964 東京都に生まれる
1988 東京大学工学部建築学科卒業
1989 イメージフォーラム付属映像研究所卒業
北海道松前町を中心にした映像作品群「松前君シリーズ」をスタートさせる
1991- 高知県高知市に活動の拠点を置く
1998 香川県を中心に毎年撮影する作品群「デジシリーズ」をスタートさせる
2000- 15 年計画の「M・I プロジェクト」をスタート、この年より、毎年 8 月に高知で行われる「よさこい祭り」に TEAM「M・I」として参加

主な個展

2010「大木裕之展「建築の夢」」ワタリウム美術館 オン・サンデーズ、東京
2008「「21 世紀の思想哲学」の前夜祭・フィクション 3」ARATANIURANO、東京
2007「メトウカ」、ギャラリープント、岡山

主な受賞

1996「第 46 回ベルリン国際映画祭」NETPAC 賞受賞
1995「1994 年度ピンク映画大賞」新人監督賞受賞
1990「イメージフォーラム・フェスティバル 1990」審査員特別賞受賞